



# 5月の園だより

## 回覧

令和6年4月30日(火) 羽茂こども園 副園長 吉田 歩

新緑が目にも鮮やかな季節となってまいりました。4月に入園・進級した子ども達は、不安そうな姿を見せるときもありましたが、次第に保育室や戸外で、自分の好きな場所・遊びを見つけ、安心して遊ぶ姿が見られるようになりました。

5月に入ると、暦の上では立夏を迎えます。初夏の過ごしやすい気候の中、戸外へ出て五感を働かせながら、好きな遊びを見つけたり、いろいろな発見をしたりと、自然を満喫したいと思います。

まもなく再び連休です。連休中は生活リズムが崩れやすく、また、気温の変化などもあり、体調を崩す子どもも見られます。いつも通り早寝早起きを心がけ、楽しく安全にお過ごしください。

### 5月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
2日	木	行事食/羽茂小学校との合同避難訓練	全園児/全園児
3日	金	憲法記念日	
4日	土	みどりの日	
5日	日	こどもの日	
6日	月	振替休日	
13日	月	身体測定	とき組
14日	火	身体測定	かわせみ組
15日	水	身体測定	きじ組
16日	木	身体測定	つばめ組
17日	金	身体測定/行事食	あひる組・ひよこ組/全園児
23日	木	歯科検診(9:30~)	全園児
24日	金	春遠足/布団の手入れ(15時以降)	全園児/全園児
29日	水	内科検診(12:30~)	全園児
31日	金	着替え持ち帰り	全園児

※避難訓練も行います。

5月の主な行事予定... 3日(月) 衣替え ・ 15日(土) 羽茂まつり ・ 29日(土) 運動会

### 5月うまれの友だちを紹介します



☆ときぐみ(6さい)  
こはま さくらさん  
じょうのこし かすみさん

☆きじぐみ(4さい)  
えびな みのりさん

☆つばめぐみ(3さい)  
なかがわ ぜんさん  
やびつ ふうまさん

☆かわせみぐみ(5さい)  
うえやま みあけさん  
しまくら りつさん  
なかはま かのんさん  
ふじい りんたろうさん

☆あひるぐみ(2さい)  
せきぐち るりさん

おたんじょうび  
おめでとう!



### 春遠足

\*5月24日(金)は春遠足です。各クラス別に行先を決め、春の自然に触れ、たくさん遊びたいと思います。詳細については後日別紙にてお知らせいたします。

(当日はお弁当の用意をお願いします)

※春遠足はお家の方の参加はありません。秋に親子遠足を予定しています。



### ファミリーデー

\*羽茂こども園では、7月に「ファミリーデー」を設けています。母の日・父の日・敬老の日...すべてを一緒に、大切な家族の皆さんに「ファミリーデー」として、子ども達から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

プレゼントは、7月下旬頃各家庭に持ち帰る予定です。どうぞお楽しみにお待ちください。



### 職員についてのお知らせ

○下記職員が5月1日より、出産休暇に入ります。

\*保育教諭 小野 里奈

「この度、出産に伴い、お休みをいただくことになりました。妊娠中少しずつ大きくなっていくお腹をなでてくれたり、赤ちゃんに向かって優しく声をかけてくれたりと、子ども達の暖かい気持ちにたくさん支えてもらいました。復帰後、また子ども達や保護者の皆様にお会いできることを楽しみにしています。」



### 春を満喫

4月上旬に子ども達の入園、進級を祝うかのように桜のつぼみが一斉に開き始めました。淡く美しい桃色を身にまとった桜の木々が子ども達の感性を刺激しているようで、春の自然に親しみ、豊かな想像力を発揮しながら遊ぶ子ども達でした。季節を感じ、遊び込む子ども達の姿をこれからも大切にしていきたいです。

休日にお花見をしたかわせみ組の子ども達が様々な素材を使って桜を作っていました。



新聞紙でも桜の木を表現できることを友だちに伝えて共有し、協力して桜を作り上げていきます。

満開に咲く桜を見上げ、「お花見しよう!」とひらめいたとき組の子ども達は、桜の木の下で給食を食べるなど、わくわくするような場作りをしていました。



『雨でもお花見したい!』子ども同士でアイデアを出し合い、シートを張ったりして、雨よけを作り、雨の中のお花見を満喫していました。

一連の活動から桜をはじめ、春の自然への興味、関心が深まっている様子で、五感を使いながら全身で楽しんでいる子ども達の姿がありました。



裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらも合わせてご覧ください。



新年度、新体制でスタートした羽茂こども園。私個人としても新しい役割に就き、目まぐるしく毎日を過ごし、気が付いたらなんと明日から5月。あっという間に一か月が過ぎようとしています。

子ども達には「なんで石木先生が園長先生になったの?」と聞かれたり、「石木先生、あっ…園長先生」と呼び直され、なんだか心地わるかったり…。「これからなんて呼ばいいですか?石木先生が呼びやすくて…」などと保護者の方に聞かれたりもします。そんな時には、「今までどおり、石木でお願いします!」とお答えしています。私としては、役職・立場は園長ではありますが、“石木むつみ”という一人の人間として、子ども達と心を通わせ、羽茂こども園の保育に携わっていきたいと思うのです。もちろん、園長という役職は全うしますので、どうか、これからも名前でご呼んでいただければありがたいです。

さて、昨年度まで、松野前園長が皆さまにお届けしてきた「園長のひとりごと」。  
園長として、“さてはて、どのようなものを届けたいか”と、私なりに考えを巡らせてみました。行きついた答えは「もっと羽茂こども園の保育、子ども達の姿を知ってほしい」「羽茂こども園の保育を保護者や地域の皆さまと一緒に作っていききたい」ということです。そこで「はもちのほいく」と題し、この紙面を通して、子ども達の姿・職員の取り組み・保育で大切にしていることなど、様々な視点から羽茂こども園を発信していこうと思います。時には脱線することもあるかもしれませんが、そこは、ご容赦いただければ幸いです。

令和6年度・特に大切にしたいこと

「つながる」ということ

コロナ禍も明け、ずいぶん以前の日常に戻り、心穏やかに過ごせる日々となりました。ただ、コロナ禍で失われたものは、完全に回復していないと感じることがあります。

保育の仕事は、子どもの育ちを支える大変尊いものです。数十年この仕事に携わっていますが、生まれて間もない1人の人間の成長を傍で見守り、その姿からたくさんのことを学んでいく・子どもから学ばせてもらう、この上なく素晴らしい仕事だと実感しています。子どもを一人の人間としてリスペクトし、成長のために力を尽くすのが保育者の役目です。その職責を果たすため、コロナ禍で失われた“子ども達にとって大切なものを、子ども達のために取り戻していく”必要があると思うのです。

前置きが長くなってしまいましたが、今年度はこの「つながる」をテーマに、羽茂こども園の保育を進めていこうと考えました。コロナ禍では安全のため致し方ないことだったとはいえ、このつながりの糸がずいぶん細くなってしまったと感じているからです。

イメージとしては、右図のような感じです。

子どもにとって必要なつながり（保護者、地域、学校や行政など）の中で、子ども達の成長を共に喜び合ったり、時には悩んだり見守ったりしながら、関係性を深めていく。このように、保育者だけでなく、たくさんの方に見守られている安心感が、子ども達にとってとてつもなく大きな力になると考えます。また、私たちも保育を進める上で、子ども同士や子どもと保育者とのつながり、そして保育者同士のつながり、さらに毎日の保育のつながり（保育の連続性）など「つながる」ということを意識して取り組みます。

「つながる」をコンセプトにすることで、関係する皆さまには今まで以上に協力をお願いするかもしれません。将来を担う大切な子ども達のため、どうかお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

\*\*\*\*\*



「つながる」ことで、「はもちのほいく」がさらに深みを増し、保育が向上していくことを楽しみに「はもちのほいく」第1号を結びます。暦は明日より5月です。